

NEWS

●ニュース

ハシモト、包装・梱包でFSSC22000認証取得

(株)ハシモト(京都府亀岡市、☎0771-23-9500)は、本社工場がFSSC22000認証を取得。従来にも増して厳格な品質管理体制を実現する。同社は食品の包装・梱包に特化した専門企業で、創業以来60年の実績がある。従来から製菓企業も含め複数の大手メーカー案件を手掛けると同時に、健康食品への新規参入企業の案件も相談段階から積極的に対応してきた。年間を通して多数の企業からの監査を受け、全ての基準をクリアしてきたため、独自の品質管理のノウハウが社内に蓄積したことでも今回の認証取得に繋がったという。

同社では、カプセル・錠剤のパウチ包装、容器・ボトルへの充填、シュリンク包装など健康食品の梱包・包装に幅広く対応。近年、健食分野で人気の高い「チャック付きスタンドパウチ」包装も得意とする。同社担当者は「スタートアップ企業はじめ、他社で断られた案件でも、当社の幅広いノウハウや専門機材を生かすことで、

解決策や代案を出せることが多くある」としている。給袋式包装機をはじめ最新鋭の機材を取り揃えるとともに、機械ではできない細かな作業を手作業で行うこともできる。

同社では、FSSC22000認証取得と並行してWEBページの全面リニューアルを行った。コロナ禍で直接の訪問ができない場合も想定し、工場紹介の動画も取り入れた。「本来は工場見学をしてもらうのが一番だが、動画で機材や場内の雰囲気をかなり伝えることができる。健食分野に新規参入する企業への理解にも繋がれば」と話している。今後、新規参入企業を含め健康食品分野の包装・梱包事業に注力していくといふ。



シュリンク包装作業

物産フードサイエンス、ケストースの酪酸産生菌増殖効果など報告

物産フードサイエンス(株)(東京都千代田区、☎03-6202-2131)は7月26日、アスペック企業のTRUE LABOと共同で、第75回日本栄養・食糧学会大会において、ケストースに関するランチタイムセミナーを開催した。冒頭、同社の柄尾巧氏(藤田医科大学消化器内科客員教授)が登壇。ケストースは、スクロースとフルクトースからなるブレバイオティクスであり、ケストースの摂取によりB.longumを始めとしたBifidobacterium属細菌やF.prausnitziiおよびL.acacaeなどの酪酸産生菌が特異的に増加するとともに、酢酸や酪酸が増えることを報告した。さらに、これらの作用がアトピー性皮膚炎の改善等、様々な疾病

の改善に寄与すると紹介した。

次に、中部大学応用生物学部の下村吉治教授が登壇。肥満を伴うⅡ型糖尿病を自然発症するOLETFラット試験にて、ケストースがインスリンの抵抗性を改善したことを報告した。高脂肪食摂取群において耐糖能の低下が見られた一方で、高脂肪食+ケストース摂取群では、低脂肪食群と同様のレベルまで耐糖能が改善したという。また、高脂肪食摂取により高値を示したインスリン濃度は、ケストース摂取により低下することを報告。ケストースの摂取は糖尿病におけるインスリン抵抗性の改善に繋がることが期待できるとした。

CPCC、RDサポート等と資本業務提携

CPCC(株)(東京都千代田区)、(株)RDサポート(東京都中央区)、(株)アイメックRD(東京都中央区)は7月15日、研究開発支援事業の最大化を目的とした資本業務提携契約を締結したと発表した。

CPCCとアイメックRDは、食品関連の臨床試験の引き合いが急増していることを受けて昨年6月、臨床試験事業に関する包括業務提携契約を締結。CPCCが受託する臨床試験をアイメックRDが一部実施するといった連携体制を構築してきた。今回の資本提携によって、「臨床試験運営ノウハウやプロジェクトの共有」「人事交流や人材支援」などを通じ、多様な臨床試験ニーズに対応可能な体制の構築ならびに臨床試験実施機能の強化を図る。

CPCCは、都内に2つの臨床試験専用クリニックを保有。抗肥満、代謝、整腸、

血流、血管内皮、睡眠、認知機能など、広範な試験に対応している。注目度が高まる「pDC」の検査も可能。最近では、保有するオーラルヘルスケアクリニックを活用した「口腔」領域の試験依頼が増加しているという。RDサポートは研究開発部門を軸とした人材キャリア支援を展開しているため、研究支援のニーズの共有と人材提供が可能。その子会社アイメックRDは治験で構築されたノウハウを基にした試験の実施が可能。資本業務提携によって各社が役割分担を行い、3社の強みと仕組みを組み合わせ、より質の高い研究支援実施体制を整えていく。

CPCC代表取締役の大川勝氏は、医薬品の治療とは異なるノウハウが必要な食品の試験について、引き続き研究の支援を推進していく、としている。

開発から20年、ニガヨモギ成分でSARS-CoV2を97.5%不活性化

美商堂製薬

美商堂製薬(株)(東京都江戸川区、☎03-6638-9538)は、スイス産のニガヨモギを原料とした植物エキス単体で、新型コロナウイルス(SARS-CoV2)を97.5%の不活性化を確認した。第三者機関において『NPアヴァサンティウムAV-CoV2(ニガヨモギ油・ニガヨモギエキス混合液)』を用いた新型コロナウイルスに対する評価試験(TCID50/mL)を行った結果、10分間でSARS-CoV2の97.5%のウイルス不活性化効果が確認された。

同社が使用しているニガヨモギはスイスのアヴァサン栽培協会が「Artemisia absinthium」の学名である品種を毎年計画栽培した原料のみを配合している。同協会との共同開発で、独自の乾燥技術により、新しい原料として研究開発を行った。

スイスでは生活に根付いた伝統ある薬草として親しまれているという。

同社の中村社長は、20年ほど前にニガヨモギを原料とするスイスの蒸留酒アーバサンを飲んで以来、ニガヨモギの抗菌効果等に着目。20年近く、毎年何度もスイスの生産地に出向き、製品開発を行ってきた。試行錯誤を重ねながら、時代のニーズに合った製品開発に役立てたいと考えていた。昨年9月にヒト免疫不全ウイルス(HIV)の抑制効果の試験も行い特許も取得。そこで未だ、終息のメドが立っていない新型コロナウイルスの感染拡大に貢献できるか仮定し、同試験に踏み切った。「ニガヨモギ原料を使ってアルコールに対して過敏症や宗教的に使えない人向けに製品開発できるのでは」と期待を掛ける。

全て台湾で生産した、安心・安全な良質原料

■台湾特定保健用食品「免疫調節機能」認証取得

免疫力調整効能動物試験の結果、以下の効能を有する:

- 1.免疫細胞増殖能力の促進
- 2.血清IgG抗体の生成を促進

■台湾特定保健用食品「アンチエイジング」認証取得

■台湾特定保健用食品「血糖低下」認証取得

■台湾総統府による台湾優良企業選定で、食品・健康商品関連企業で唯一選出される



- 当社のクロレラ原料は種株の育成段階から天然風味、栄養成分とともに優れたクロレラビレノイドサにこだわり、純天然清浄培養で着実に育て上げてまいりました。
- 台湾及びドイツで「高消化率処理」特許を取得。
- 多年来の研究により、純物理的方法で高打錠性と良好な崩壊性、そして優れた流動性をもつ高品質クロレラをお届け致します。
- 厳しい品質管理・安全性試験を行い、無農薬、無添加で安全な物を提供します。
- USDA認証、台湾有機認証。

※クロレラには豊富な蛋白質・各種ミネラル・各種ビタミン・各種アミノ酸・葉酸などの様々な天然栄養成分が含まれております。

- ①クロレラ原末
- ②クロレラ錠
- ③クロレラ青汁
- ④CGFエキス
- ⑤CGF粉末
- ⑥CGFカプセル(植物性)
- ⑦クロレラ微細粉インスタントパウダー

SINCE 1964 台湾綠藻工業股份有限公司 TAIWAN CHLORELLA MANUFACTURING CO., LTD

台灣台北市南京東路2段71號(台農大樓5F)
TAI-FONG BUILDING 5F No.71, SEC.2 NANKING EAST RD, TAIPEI, TAIWAN
http://www.taiwanchlorella.jp | Tel : 886-2-2511-6242
E-mail : info@taiwanchlorella.tw | Fax : 886-2-2563-8554 (日本語可)

健康機器/化粧品

● Healthy apparatus/Cosmetics



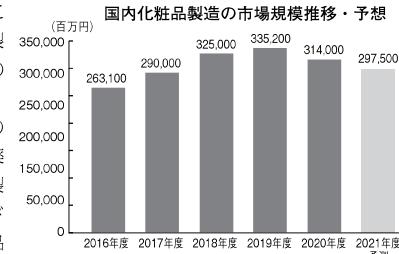
2020年度化粧品受託製造市場 3,140億円(前年度比93.7%)

矢野経済研究所

(株)矢野経済研究所が7月20日に発表した2020年度の化粧品受託製造市場規模は、前年度比93.7%の3,140億円となった。

同社によると、2019年度までの市場拡大の要因として、①改正薬事法施行による国内化粧品受託製造市場の活性化、②インバウンド(訪日外国人)による日本製化粧品消費の増加、③海外現地消費者向けの日本製化粧品販売ビジネス=アウトバウンド(越境ECを含む)需要拡大が挙げられるとしている。

一方で、2019年度後半には、同年1月の「中華人民共和国電子商務法(EC法)」施行を主要因としたインバウンド需要減速の顕在化、さらには2020年から続く新型コロナウイルス感染症による国内経済と消費の大幅な落ち込みとインバウンド需要の消失により、国内外での化粧品需要は大きく落ち込むこととなり、化粧品受託製造市場も一軒、減少トレンドに転じているとしている。



同社では、2021年度の化粧品受託製造市場規模(事業者売上高ベース)は、前年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比94.7%の2,975億円に減少すると予測している。一方で、2021年後半からはワクチン接種が進むことで、各種小売店舗の営業自粛措置の緩和が本格化するとみられ、市中の生活者の外出頻度も高まるなど消費環境が改善され、2021年度後半から2022年度にかけて需要の回復が期待されるとし、2025年度の化粧品受託製造市場は2020年度比100.4%の3,152億円になると予測している。

24時間風呂、2021年度第1四半期 総出荷台数1,027台(前年同期比77.0%)

24時間風呂協議会(徳島県吉野川市)が7月7日に発表した2021年度第1四半期(4~6月)の24時間風呂の総出荷台数は1,027台で、前年同期比で77.0%となった。

用途別内訳では、「家庭用屋内型」が976台(同76.6%)、「家庭用屋外型」が32台(同69.6%)、「業務用」が28台(同116.7%)となっている。

前年同期に対して売上高が増加した会員は3社、減少した会員は3社だった。事務局では、増減の理由はメーカーによって異なるが、季節的な要因が大きいと推測される上、依然としてコロナ禍による影響が大きいとしている。また会員1社が販売終了を告知したことでも影響しているという。

同協議会の7月7日現在の正会員は5社、賛助会員は2社となっている。

Q'sfix、健康産業のDX支援を本格化

(株)Q'sfix(キューズフィックス: 東京都千代田区、☎03-6256-0320)は、健康産業でデジタル変革を目指す受託メーカーや通販事業者などのDX(デジタルトランスフォーメーション)支援を本格化する。

DXとは、デジタル技術を活用し、既存の価値観や枠組みを覆すような技術革新をもたらすビジネスモデル。コロナ禍で大きく変化した生活様式や消費活動を背景に、事業のDX化に着目する事業者が増えている。

同社は、1976年創業のCABC'S(Creating a Better future with Customers, with Societies)グループとして、金融から官公庁、通信、医療、モバイル、流通、産業、創薬、運動科学にいたる日常の様々なサービスの根幹にあるITソリューションを提供。「製造現場で活用したいが相談先がない」「製品・素材情報の詳細をデータ化し、商品

開発や販促に有効活用したい」といった漠然とした悩みを抱える事業者の課題解決を得意とする。「健康産業は今後の日本の重要な基幹産業のひとつ。弊社グループのノウハウで課題の洗い出しからサポートしたいので、些細なことでもまずはメール(info_sales@cabcsgroup.com)で相談してほしい」という。

グループには、創薬・化学分野の製造業ポートアップとコスト削減に実績を持つPatcore(ペトコア)をはじめ、工場の部品精度管理や、専門機器への組込みシステム開発、保守・運用サービスまで対応するForward System(フォワードシステム)、日本向けソフトウェア・システム設計開発ほかR&D、製造、物流等のビジネス革新を支援するインド・バンガロール拠点のシステム開発企業India(インディア)がある。

Etak抗菌剤、新型コロナへの持続的な有効性を確認 広島大学大学院

広島大学大学院医系研究科とエイザイの研究グループは、持続型抗菌成分「Octadecyl dimethyl ammonium chloride」(Etak)を主成分とする抗菌剤のSARS-CoV-2へ持続的な抗ウイルス効果を確認した。

同成分を含む抗菌剤を試験検体とし、SARS-CoV-2のウイルス感染価は、VeroE6/TMPRSS2細胞を用いて、TCID50法にて測定。検体を直接ウイルスに作用させ、SARS-CoV-2への有効性を確認したのち、検体をガラスシャーレに塗布・固定化し、一定期間室温保存したのちに、ウイルス液に曝露することで抗ウイルス効果の持続性を評価した。

その結果、SARS-CoV-2に対する抗ウイルス性が認められ、さらに固定後46日が経過したシャーレにSARS-CoV-2のウイルス液を滴下した試験では、経時的にウイルスが失活し、6時間後に検出限界まで不活性化された。またウイルス感染価に対応して、SARS-CoV-2のゲノムRNAのコピー数が減少している事も確認された。研究チームは、「同成分を含む抗菌剤は、SARS-CoV-2への持続的なウイルス除去効果があり、ガラスに塗布・固定化された後、数時間が経過しても抗ウイルス効果があることが示唆された」としている。なお、この研究成果については、6月発行の『医学と薬学』にも論文掲載された。

— 作る私たちは何万個でも、買うお客様は1個です —

【京都・亀岡】ハシモトは 充填と包装専門の会社です

カプセル・錠剤のパウチ、容器・ボトル充填、シュリンク包装
健康食品の梱包・包装各種対応致します。



HASHIMOTO 株式会社ハシモト

本社:〒621-0016 京都府亀岡市大井町南金岐重見65
TEL 0771-23-9500 <https://kyoto-hashimoto.co.jp/>
ご相談・工場見学 お気軽にどうぞ

工場動画UP!

